



原町小だより 「はらまち」

川口市立原町小学校
全校児童数423名

— すべての子供の学びを保障する 笑顔あふれる原町小学校 —

HPアドレス <https://haramachi-kawaguchi.edumap.jp/>

「弱さの情報共有」

加田 明

春の訪れを感じる季節となりました。

正門のしだれ桜も芽が出始めて、花を咲かせる準備をしています。

令和3年度も残りわずかとなり、子供たちは学年の最後のまともに日々励んでいます。どの子供にも一日一日を大切に、クラスの友達や先生と多くの思い出を作してほしいと思います。

そして、3月23日には6年生51名が卒業を迎えます。

新しい扉を開こうとする子供たちへ、心からのエールを教職員一同で送り、門出へのはなむけとしたいと思います。

1～5年生は6年生への感謝の気持ちを持つとともに、1年ずつ上級生となる自覚をもって令和4年度を迎える準備をさせたいと思います。

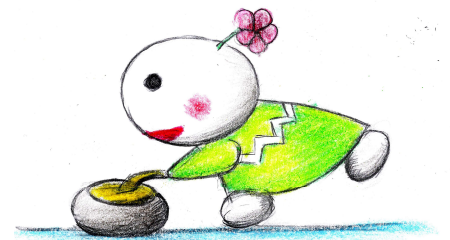
さて、北京オリンピックが終わりました。今回のオリンピックでは獲得したメダルの話題以上に考えさせられるエピソードが多かったように思います。メダルは取れなかったけれどクワッドアクセルにチャレンジした羽生結弦選手やジャンプスーツの規定違反で失格となったけれど心を立て直してジャンプ台に向かった高梨沙羅選手。最後まで自分のベストを尽くそうとする姿に感動しました。

なかでも私はカーリング女子の活躍に感動しました。ロコ・ソラーレという北海道北見市のチームは幼いころからチーム単位で活動し、そのまま日本の代表としてオリンピックに出場して見事決勝まで勝ち上がりました。優勝した英国のように国の選抜方式で選ばれた有力選手でチームを組んでいる国とはその差が決勝で出たのかもしれませんが、しかし立派な銀メダルを取りました。

ロコ・ソラーレは国内でも勝てない時期があったそうです。そんなときみんなで話し合っ出て出した結論が、「重圧を乗り越えるのではなく受け入れる」ことだそうです。緊張していれば「緊張しているかも」と言っている。調子が悪ければ「今日はだめかも」と仲間を頼っている。「弱さの情報共有」と呼ぶそうです。とてもいい言葉だと思いました。

チームの吉田選手は「メンタルは強化しなくていい。弱いまま、かっこ悪くていい。弱さでつながっているチームなので、弱さを強化しています。」と語っていました。

自分の弱さを互いに安心してさらけ出すことのできる仲間、困ったら助けてくれる仲間って素敵だと思いました。ピンチの時も声を掛け合っいつも笑顔絶やさないロコ・ソラーレに学ぶことは多いような気がします。



今年度最後の学校だよりとなりました。

本校の教育活動に保護者の皆様、地域の皆様が変わらぬご支援、ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。原町小学校は人と人との温かいつながりを大切にして、地域全体で子供たちの成長を支えている学校だと実感しております。来年度もそのつながりを大切にして、笑顔あふれる地域に愛される学校にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。